

## 「口腔内スキャナーと歯科技工の連携と展望」

長田康仁

近年、口腔内スキャナー(IOS)の普及と様々な CAD ソフトの開発により、既に海外ではデジタルインプレッションによる臨床が広く活用されています。

そこで今回は、IOS によるデータ転送とラボサイドでの有効性と応用について解説いたします。